

鶴川地区統合新設小学校の校舎建設について

1 鶴川西地区統合新設小学校の校舎建設について

鶴川西地区統合新設小学校の新校舎は現鶴川第四小学校の敷地にて、2029年度に開校を予定しております。鶴川西地区の整備手法につきましては「※PFI手法(プライベート・ファイナンス・インテグレーション)」が従来方式で整備するかを検討してきました。検討した結果、同時期にPFI業者が重なることから参画事業者の確保が困難な可能性があることや鶴川東地区に合わせて鶴川西地区も従来方式とすることで維持管理運営を包括的に委託することによるスケールメリットの可能性のあることから、鶴川西地区について、PFI手法ではなく、**従来方式**による整備としました。

※「PFI手法」とは

学校のような公共施設的设计・建設やその後の維持管理・運営などの業務について、これまでのように行政が仕様を定めそれぞれの業務ごとに契約するのではなく、求める性能を示したうえで、すべての業務を一括して契約することです。

学校名/年度		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	工事中の使用校舎及び統合時期
鶴川西地区	鶴川第四小学校		既存校舎		既存校舎解体	新校舎建設		校庭整地工事		【2026年度】 ・鶴四小と鶴三小が閉校し、統合新設校が開校。 ・工事期間中は鶴三小の既存校舎を使用します。
	鶴川第三小学校(一部)			既存校舎改修工事	既存校舎					【2029年度】 ・新校舎完成に合わせて新校舎に引越し。 ・校庭整地工事を行います。

【統合新設小学校(現 鶴川第四小学校)】

- 2024年度、2025年度の2年間で、新校舎建設工事に必要な基本設計及び実施設計
- 2026年度に鶴川第四小学校既存校舎解体工事
- 2027年度、2028年度に新校舎建築工事
- 2029年度に校庭整地工事

【統合新設小学校仮校舎(現 鶴川第三小学校)】

- 2025年度に統合時の教室数確保のため、鶴川第三小学校既存校舎改修工事を行います。

2 鶴川東地区統合新設小学校の校舎建設について

鶴川東地区統合新設小学校は、現在、基本設計を行っており、新校舎の配置案を検討しております。

検討にあたり、複数の配置案から比較ポイントとして以下の項目を抽出し、比較を行います。

- ・教室移動距離
- ・校舎の日当たり
- ・校庭面積
- ・校庭の日当たり
- ・周辺の環境 など

※鶴川西地区統合新設小学校につきましても、2024年度の基本設計にて、配置案等について検討を行います。

学校名/年度		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	工事中の使用校舎及び統合時期
鶴川東地区	鶴川第二小学校		既存校舎		既存校舎解体	新校舎建設		仮校舎解体 既存体育館解体 校庭整地		【2026年度】 ・鶴二小と鶴三小が閉校し、統合新設校が開校 ・工事期間中は鶴二小の既存校舎を解体するため、 仮校舎(プレハブ)を建設し、3年間使用します
	鶴川第三小学校(一部)			仮校舎建設	仮校舎					【2029年度】 ・新校舎完成に合わせて新校舎に引越し ・仮校舎、既存体育館の解体、校庭整地 ※鶴三小既存校舎は2026年度から鶴四小と鶴三小(一部)の統合校で使用